

みずほCustomer Desk Report 2016/07/11号(As of 2016/07/08)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	100.97 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.76	1.1063	111.48	0.9786	1.2912	0.7492
SYD-NY High	101.30	1.1120	111.86	0.9865	1.3022	0.7574
SYD-NY Low	99.99	1.1002	110.88	0.9762	1.2881	0.7470
NY 5:00 PM	100.60	1.1048	111.15	0.9832	1.2952	0.7564
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.835/14.335		△25RR	2.060	Yen Call Over	

NY DOW	18,146.74	250.86	債券市場	日本2年債	-0.3510	▲1.0bp
NASDAQ	4,956.76	79.95		日本10年債	-0.2820	▲0.8bp
S&P	2,129.90	32.00		米国2年債	0.6050	1.6bp
日経平均	15,106.98	▲169.26		米国5年債	0.9476	▲1.3bp
TOPIX	1,209.88	▲16.21		米国10年債	1.3579	▲2.7bp
シカゴ日経先物	15,410	50.00	為替市況	独10年債	-0.1890	▲1.9bp
ロンドンFT	6,590.64	56.85		英10年債	0.7350	▲4.6bp
DAX	9,629.66	210.88		豪10年債	1.8830	1.6bp
ハンセン指数	20,564.17	▲142.75		USD/CNH	6.7035	0.0026
上海総合	2,988.09	▲28.75		ドルインデックス	96.30	▲0.03
USDJPY 3M Vol	12.86	0.03%	商品市況	CRB指数	187.173	1.47
USDJPY 6M Vol	12.53	0.24%		NY金	1,358.400	▲3.70
EURJPY 3M Vol	13.92	0.01%		WTI	45.410	0.27
EURJPY 6M Vol	13.62	0.17%		Dubai Spot	42.25	▲2.67

東京	東京時間のドル円は100.76レベルでオープン。オープン前に発表された対内・対外証券投資では対外中長期債投資が1兆9,452億円の買い越しとなり、継続的な対外投資が確認されたことで、ドル円は底堅く推移。公示仲値にかけては実需のドル買いにも支えられ、仲値発表後には東京時間高値100.96まで上昇。その後、浅川財務官より「なかなかホリタリティがおさまらない」「投機的な動きがあれば、対応をきちっとしていきたい」との発言がみられるも、相場への反応は限定的で、この日の米6月雇用統計の発表を控え方向感に乏しい展開となる。午後に入り、日経平均株価が下げ幅を拡大させるとドル円もつれ安となり、一時100.25まで下落したものの、引けにかけてはやや反発し、結局100.45レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は小動き。ドル円は100.45レベルでオープン後は、特段ニュースのない中、米6月雇用統計の発表を控え方向感に欠ける値動きとなり、100.42レベルでNYに渡った。ユーロドルは小幅下落。1.1076レベルでオープン後、独5月貿易収支で黒字幅の縮小が確認されたことなどを背景にユーロ売り地合いが継続。しかし、ドル円と同様に米6月雇用統計の発表を控えて大きな値動きとならず、1.1063レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は100.42レベルでオープン。注目の6月非農業部門雇用者数変化(NFP)は前月比+28.7万増と予想の同+18万人増を大きく上回ったことから、発表直後は101.30まで急伸するが、大幅に上方修正されると思われていた5月分が同+3.8万人増から同+1.1万人増に下方修正。失業率が4.9%へ上昇したことや、平均時給が0.1%増に留まったことに加え、ドル円の上値の重さが意識され、更に米議会が警察の活動で封鎖とのヘッドラインも相俟って、一時99.99まで急落する。その後はNFPの3ヶ月平均が14.7万人増との結果は悲観する程の内容でもないとの見方や、週末を控えた調整の動きから100.89まで戻す。午後は、週末を控え100.50付近での推移が続き、100.60レベルでクロスした。一方、米雇用統計結果発表を控え、海外市場で狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは、1.1063レベルでNYオープン。朝方は米NFP結果を受けたドル買いに、1.1002まで急落するが、その後はドル売りが優勢となり、1.1120まで急伸する。しかし戻り売り意欲は強く、週末を控えたポジション調整の動きもあり、1.1027まで反落する。午後は、週末を控え1.1050付近での推移が続き、1.1048レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:吉田・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月8日	8:50	日 国際収支(経常収支)/貿易収支	5月 ¥1,809.1B/¥39.9B	¥1,751.2B/¥56.0B
	14:00	日 景気ウォッチャー調査(現状/先行き)	6月 41.2/41.5	43.1/46.7
	15:00	独 貿易収支/経常収支	5月 21.0B/17.5B	23.5B/24.6B
	17:30	英 商品貿易収支	5月 -£9.879M	-£10.700M
	21:30	加 雇用ネット変化	6月 -0.7K	5.0K
	21:30	加 失業率	6月 6.8%	7.0%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	6月 287K	180K
	21:30	米 失業率	6月 4.9%	4.8%
	21:30	米 平均時給伸び率(前月比/前年比)	6月 0.1%/2.6%	0.2%/2.7%

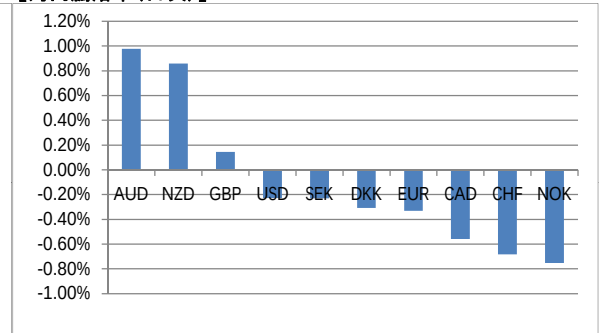
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月9日	8:50	日 機械受注(前月比/前年比)	5月 3.2%/-8.7%	-11.0%/-8.2%
	10:30	豪 住宅ローン伸び率(前月比)	5月 -2.0%	1.7%
	21:15	加 住宅着工件数	6月 189.0K	188.5K
	23:00	米 労働市場情勢指数	6月 0.0	-4.8
	23:00	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁、講演	-	-
	-	米 ユーロ圏財務省会合(ブリュッセル)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.00-101.10	1.1000-1.1100	110.00-112.00

【マーケットインプレッション】

先週末の海外市場のドル円相場は上値の重い展開となった。東京時間朝方は5.10日によるドル買いに100円後半で底堅く推移したものの、米雇用統計発表前の調整から100円台前半へ反落。その後、欧州時間に入っても100円台半ばでもみ合いの展開となった。発表された米雇用統計は、非農業部門就業者数が予想を大きく上回る数字(前月比28.7万人増と前月から急回復)を示すと、101.30まで上昇。しかし、前月分の下修正や賞金の伸びの停滞に、FRBの利上げペースを早めるものではないとの反応から上げ幅を縮小し、99.99まで円買いが進んだ。その後は、週末を控えたポジション調整に100円台半ばを回復して越えた。本日のドル円相場は、株式市場を睨みながらもみ合いの展開を予想。先週末の雇用統計を受け上値の重さを確認したことから、積極的に上値を買っていく展開は予想し難いが、株式市場が堅調に推移すれば101円台半ば～後半で底堅い値動きとなるであろう。(吉田憲)